

第4回三田市環境審議会部会 議事概要

1. 日時

・令和4年9月26日（月） 16時00分～17時35分

2. 場所

・三田市役所2号庁舎 2201会議室

3. 出席者

【委員】5名

- ・石田 弘明 (委員：環境審議会学識委員) ※部会長
- ・佐山 浩 (委員：環境審議会学識委員)
- ・森 里美 (委員：環境審議会市民委員)
- ・増原 直樹 (専門委員：地球温暖化対策に関する学識者)
- ・日下部達也 (専門委員：クールチョイスネットワーク会議参画事業者)

【事務局】5名

- ・久高部長 (まちの再生部)
- ・辻下室長 (まちの再生部ゼロカーボンシティ推進室)
- ・赤井課長 (まちの再生部ゼロカーボンシティ推進室環境創造課)
- ・辰巳係長 (同上)

【委託業者】1名

- ・待井 健仁 (アセス株式会社)

【傍聴者】なし

4. 欠席者

【委員】1名

- ・阪本 浩司 (委員：環境審議会各種団体委員)

5. 次第

- (1) 開会
- (2) 挨拶
- (3) 議事
 - ① 計画の推進体制と進行管理
 - ② 温室効果ガス排出量の削減目標・再生可能エネルギーの導入目標
 - ③ 温室効果ガス排出量の削減に向けた方策等
- (4) その他
- (5) 閉会

6. 配布資料

資料：さんだゼロカーボンシティ推進計画（素案）

7. 議事内容

事務局	(資料「さんだゼロカーボンシティ推進計画（素案）」に基づき、計画の推進体制及び進行管理について説明)
委員	推進体制について、環境審議会へ報告とありますが、報告内容について具体的な説明を追加した方が良いのではないかと思います。また、進行管理について、定期的に点検・評価とありますが、頻度についてももう少し厳密に記載した方が良いのではないかと思います。
事務局	基本的には毎年度、環境審議会へ報告するように考えていますので、記載内容を修正します。
委員	毎年度の進行管理も重要ですが、計画の見直しに関する規定も入れておいた方が良いのではないかと思います。
事務局	進行管理をしていく中で、社会状況の変化等を踏まえて見直しが必要になった場合には、速やかに見直しを行っていきたいと思っています。
部会長	記載内容について、修正していただければと思います。
事務局	(資料「さんだゼロカーボンシティ推進計画（素案）」に基づき、温室効果ガス排出量の削減目標及び再生可能エネルギーの導入目標について説明)
委員	ゼロカーボンシティを実現するためには、行政の取組はもちろん市民や事業者の協力が必要になるため、市民や事業者が頑張れば達成できると思える目標を設定していくことが重要ではないかと思います。
事務局	目標を達成するためには、排出係数の低減等の国レベルの取組にも影響を受けますが、まずは行政をはじめ市民や事業者が一致団結して省エネルギー対策や太陽光発電の導入に取り組んでいきたいと考えています。
委員	1点目は、2030年度の削減目標イメージについて、森林吸収量の0.3%ほどのように算出しているのか教えていただければと思います。 2点目は、再生可能エネルギー導入目標について、2030年度の導入比を16%と設定していますが、現状の10.9%からどこにどれくらい増やしていくのか、

	<p>目安を持っておいた方が良いのではないかと思います。また、水力発電について、市内でも大川瀬ダムで設置されている事例もあるため、積極的に支援してほしいと思います。</p> <p>3点目は、製造業のCO₂排出量について、どのデータを使って推計しているのか教えていただければと思います。</p>
事務局	<p>森林吸収量については、2013年度から2018年度の増加分である2,566t-CO₂から0.3%としています。製造業のCO₂排出量については、兵庫県のデータを使って推計すると過大評価になる恐れがあるため、全国の炭素排出量を全国と三田市の製造品出荷額等の比率で按分することで推計しています。</p>
事務局	<p>太陽光発電の導入比16%については、どうやって達成を目指していくのか再度精査をさせていただきたいと思います。</p>
委員	<p>2030年度の削減目標のイメージにある削減率を合計すると48.8%になるということでしょうか。</p>
事務局	<p>そのとおりです。</p>
部会長	<p>2030年度の削減目標のイメージについては、算出の方法をもう少し分かりやすく記載していただければと思います。</p>
委員	<p>太陽光発電以外の再生可能エネルギーとして、地熱発電はコストをかければ三田市でも可能なのでしょうか。</p>
事務局	<p>地中熱利用は、100m程度の穴を掘り、地表と地中の温度差を利用して冷暖房等を行うものです。一方、地熱発電は、1,000mを超える穴を掘り、温泉熱を利用して発電を行うもので、日本でもポテンシャルがあるのは温泉地等のごく一部の地域のみであるため、三田市では難しいのが現状です。</p>
委員	<p>太陽光発電について、耕地の導入ポテンシャルが比較的大きくなっていますが、現在使われている耕地への導入可能性はどれくらいあるのでしょうか。また、蓄電池を活用した自家消費について、どのように推進していくのか教えていただければと思います。</p>
事務局	<p>現在、高齢化が進んでおり、農業をどうやって維持していくかが課題となっている中で、現実的には農地を活用したソーラーシェアリングはハードルが高いと思っています。また、固定価格買取制度の買取期間が終了した方々に対して、蓄電池を活用した自家消費への移行を想定しており、今後具体的な施策を</p>

<p>部会長</p>	<p>検討していきたいと考えています。</p> <p>農地等への導入が難しいのであれば、導入比 16%の達成は難しくなると思いますが、どのように考えているのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>目標の達成は決して容易ではないと思いますが、あらゆる可能性を含めて検討していき、可能性があるところについては積極的に導入を進めていきたいと考えています。</p>
<p>部会長</p>	<p>P25 の排出係数の低減率の設定について、もう少し丁寧な説明をお願いしたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>(資料「さんだゼロカーボンシティ推進計画(素案)」に基づき、温室効果ガス排出量の削減に向けた方策等について説明)</p>
<p>委員</p>	<p>1 点目は、オール三田という言葉について、市民や事業者が自覚を持てるかどうかが重要であると思うのですが、この言葉は他の計画等でも使用されているのでしょうか。</p> <p>2 点目は、ふるさと納税の一部が環境分野に活用されているのであれば、積極的に PR していただければと思います。</p> <p>3 点目は、計画の中で「わたしたちにできること」がたくさん記載されていますが、もう少しかみ砕いて、子どもたちにも伝わる仕組みを考えていただければと思います。</p> <p>4 点目は、SDGs の PR として、子どもたちにピンバッジを配るのも良いのではないかと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>オール三田という言葉は、他の計画では使われていないと認識しています。ゼロカーボンシティの実現のためには、一人ひとりが主体的に率先して取り組んでいくことが重要であると考えており、基本理念の中で表現を工夫していきたいと考えています。</p> <p>ふるさと納税の用途については、現状ではゼロカーボンに充当している項目はありませんが、市政の PR にもつながると思いますので、今後検討していきたいと考えています。</p> <p>子どもたちの脱炭素意識の醸成については、家庭での取組が重要であると思っていますので、学校とも連携しながら子どもたちにしっかりと伝えられるように進めていきたいと考えています。</p> <p>SDGs については、環境分野だけではなく、様々な施策に関わってくるものがありますので、子どもたちへの PR も含めて全庁的に連携しながら進めていきたいと考えています。</p>

部会長	概要版は作成するのでしょうか。
事務局	作成する予定です。
委員	<p>エネルギーの脱炭素化に関連する SDGs について、13 番の気候変動のロゴを追加していただければと思います。</p> <p>太陽光エネルギーの利用拡大について、森林を切り拓いてのメガソーラーや現在使われている農地等は難しいのであれば、屋根に最大限設置していくしかないと思いますので、市内で太陽光発電を増やすためにはどこに設置していく方針なのか明確に記載していただければと思います。さらに、公共施設での導入を率先的に行っていく意欲を示していくことが必要だと思います。</p> <p>住宅・建築物の省エネルギーの促進として、新築の住宅・建築物については、省エネ基準への適合に向けた啓発を行うとありますが、現在大手の工務店では新築の場合には半分以上は ZEH になっているため、単なる啓発ではなく、市内で戸建住宅を新築する際には太陽光発電や ZEH は当たり前のような雰囲気を作っていくことが必要だと思います。そのために、住宅の耐震改修に関する補助金と連携はできないのでしょうか。</p> <p>宅配便の再配達削減については、一回で受け取ることによる具体的な CO2 削減効果があるとより分かりやすくなるのではないかと思います。また、成果指標として挙げられている地域内交通とはどのようなものなのでしょうか。</p> <p>パートナーシップの構築として、クールチョイスネットワーク会議の拡充とありますが、先進的な取組を行う事業者が適切に評価される仕組みがあれば、インセンティブにつながるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>太陽光発電や ZEH、ZEB の促進については、表現を精査させていただきたいと思います。また、耐震改修については、担当部署と連携し、啓発の方法についても工夫しながら進めていきたいと考えています。</p> <p>太陽光発電の導入を進める場所については、既存の屋根が第一候補になると思いますので、表現を検討したいと思います。</p> <p>地域内交通については、特に農村部等のバス停までの移動が困難な地域において、地域内の移動やバス停までの移動を支えていこうという取組です。</p> <p>クールチョイスネットワーク会議の拡充については、企業の先進的な取組を市民に広めていくとともに、インセンティブについて検討していきたいと思います。</p>
委員	<p>補助金等の優遇措置については記載されていませんが、取り組む人のメリットはあるのでしょうか。施策を進めるにも予算が伴うと思いますが、目標を達成するための予算措置はどのように考えているのでしょうか。</p>

事務局	<p>目標の達成に向けて、補助金も含めてどうすれば効果的に施策展開ができるかを検討し、毎年度必要な予算を確保していきたいと考えています。</p>
委員	<p>情報発信の推進として、効果的な情報発信の手法について検討していくとありますが、情報発信は非常に重要であると思いますので、インターネットや SNS 等を含めて具体的な手法を検討していただければと思います。</p>
委員	<p>表彰制度ではなく、感謝状であれば可能なのではないかと思いますので、そのあたりから始めるのが良いのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>情報発信の手法としては YouTube も効果的だと思いますので、ぜひ活用を検討していただければと思います。</p>
部会長	<p>基本理念は空白になっていますが、次回に示していただけるのでしょうか。</p>
事務局	<p>そのように考えています。</p>
部会長	<p>基本方針について、地域と共生する再生可能エネルギーの導入とありますが、地域と共生というのはどのように考えているのでしょうか。</p>
事務局	<p>エネルギーの地産地消、地域循環という思いを込めています。</p>
事務局	<p>今回は、最終の部会となりますが、11月21日を予定しています。それでは、本日はこれもちまして閉会させていただきたいと思います。ありがとうございました。</p>
<p>以上</p>	